

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第24回南区ふれあいまつり		南区ふれあいまつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
区民の関心が高い「防災」や「減災」をテーマにした体験型の事業を実施し、南区の防災力を高めることと、自治会加入促進に寄与することを目的とする。	防災シンポジウム、防災関連ブース、防災クイズスタンプラリー、避難所体験テント、一斉防災訓練、ロープワーク体験、和太鼓で防災を学ぼう！、各校区模擬店、各種協力団体出店	来場者数 (R4は代替事業としてみなみ防災フェスタを実施)	-	1,050人	13,000人
		-	-	-	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 南区最大のイベントである南区ふれあいまつりで、区民の関心が高まる「防災」や「減災」を取り扱うことで多くの区民に働きかけることができる。	○ 南区自治連合協議会と南区長で構成する実行委員会が企画を行い、地域住民と区職員が当日の運営スタッフとして関わることで、協働が実現できている。	○ 今年度から南区ふれあいまつりでは、防災をテーマにした体験型イベントを実施したことで、目新しさがあり、区民の防災への意識づくりに働きかけた。	◎	市の負担金だけでなく、校区負担金や企業等からの協賛金もあわせて運営資金とし、財源の確保に努めた。 また、各種委託業務内容を見直し、コンパクトな開催内容に変更し、経費削減を行った。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 本事業は、南区最大のイベントであり、実施にあたり各種団体との調整業務が非常に重要となっており、区が事務局として実施する必要がある。	○ コロナ禍以来の西原公園での開催であり、午後から雨天ということもあったが、約13,000人ももの来場者があった。また、新たな取組みとして「防災」や「減災」を取り扱った体験型イベントを実施したが、参加者より防災意識の向上につながったとの回答も得られ、区民の防災への意識づくりに働きかけたと言える。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は南区ふれあいまつりで初めて防災イベントを実施し、参加者への防災への意識づけがみられたことから、これからも区民の防災への関心は高まると予想され、今回の防災イベントの内容を精査し、防災をテーマにして事業を継続する。また、コンパクトな開催を行うために、イベント内容や業務改善を行い、経費削減・効率化をめざしていく。				